

JIS

紙及び板紙－圧縮強さ試験方法－ リングクラッシュ法

JIS P 8126 : 2015

(JAPAN TAPPI/JSA)

平成 27 年 6 月 22 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準第一部会 基盤技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	奈良 広 一	独立行政法人産業技術総合研究所
(委員)	伊 藤 納 奈	独立行政法人産業技術総合研究所
	江 前 敏 晴	筑波大学
	大久保 友 恵	レンゴー株式会社
	大 谷 聖 子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	大 谷 吉 生	金沢大学
	柿 本 章 子	主婦連合会
	金 田 徹	関東学院大学
	重 松 康 夫	一般財団法人日本規格協会
	鈴 木 知 道	東京理科大学
	鈴 木 由紀子	王子ホールディングス株式会社
	関 順 子	日本製紙株式会社
	高 津 章 子	独立行政法人産業技術総合研究所
	中 本 文 男	一般財団法人日本品質保証機構
	淵 田 隆 義	女子美術大学
	古 谷 涼 秋	東京電機大学

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 32.9.18 改正：平成 27.6.22

官 報 公 示：平成 27.6.22

原 案 作 成 者：紙パルプ技術協会

(〒104-8139 東京都中央区銀座 3-9-11 紙パルプ会館 TEL 03-3248-4841)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

審議専門委員会：基盤技術専門委員会 (委員長 奈良 広一)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 原理	2
5 装置	2
6 試料の採取	4
7 調湿	4
8 試験片の調製	4
9 操作	4
10 計算	5
11 報告書	5
附属書 A (参考) 精度	7
参考文献	9
附属書 JA (参考) JIS と対応国際規格との対比表	10
解 説	12

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、紙パルプ技術協会（JAPAN TAPPI）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。これによって、**JIS P 8126:2005** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

紙及び板紙—圧縮強さ試験方法— リングクラッシュ法

Paper and board—Determination of compressive strength— Ring crush method

序文

この規格は、2011年に第2版として発行された **ISO 12192** を基に、対応する部分については対応国際規格を翻訳し、技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、**附属書 JA** に示す。

1 適用範囲

この規格は、紙及び板紙、特に、段ボール及び包装箱の製造に使用される、板紙切断面の垂直方向の圧縮強さ（リングクラッシュ強さ）を測定する試験方法について規定する。この規格は、厚さ 0.100 mm～0.580 mm の全ての紙及び板紙に適用する。0.280 mm未満の厚さをもつ紙及び板紙の場合、測定値には、純粋な圧縮のほか、座屈破壊の影響が含まれることがある。

注記 1 0.580 mmを超える厚い紙及び板紙については、円筒内で試験片を曲げることで生じるゆがみによって、試験結果に影響が及ぶことがある^{[5][6]}。

注記 2 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 12192:2011, Paper and board—Determination of compressive strength—Ring crush method (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、**ISO/IEC Guide 21-1**に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS P 0001 紙・板紙及びパルプ用語

JIS P 8110 紙及び板紙—平均品質を測定するためのサンプリング方法

注記 対応国際規格：**ISO 186, Paper and board—Sampling to determine average quality (IDT)**

JIS P 8111 紙、板紙及びパルプ—調湿及び試験のための標準状態

注記 対応国際規格：**ISO 187, Paper, board and pulps—Standard atmosphere for conditioning and testing and procedure for monitoring the atmosphere and conditioning of samples (MOD)**

JIS P 8118 紙及び板紙—厚さ、密度及び比容積の試験方法